

ウエイ ラ ミン テイエン

为了明天

—— 明日のために ——

子どもたちに希望を 人々に友情を

特定非営利活動法人 宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会

<http://www.sokeirei.org>

「友好の種はまき続けねばならない！」

—— 温家宝首相来日と日中戦争70周年に際して ——

中国の温家宝首相の来日を控えて、NHK報道部記者が当会事務所に取材に訪れました。

Q：温家宝首相に何をお聞きになりたいですか？

A：中国は、どこに行くのでしょうか... 中国は、「小康和諧社会(人々の過不足のない日常生活が保障され、全体として調和の取れた社会)を目指す」と言われていますが、そのような社会を創り出し、維持するために、どんな社会の仕組みを描いているのでしょうか？

Q：日中関係について...？

A：両国の人々は、お互いに相手国の現実の全体像を知り合う努力をしなければならないと思います。中国については、沿海の大都市と内陸の農山村、ウインウインで発展のうずの中にいる富裕な人々と未だ貧困から這い出せない人々、超近代と前近代の交錯した風景など。長い歴史、広大な領土、13億6000万の人口ですから... 私たちは何を見て中国を語っているのでしょうか。中国の方々が日本を見る場合も同様です。まず、

ほんとうの姿を知り合う努力をしたいものです。〔要約〕

この3月初旬、中国では全国人民代表大会(国会に相当)が開催されたので、現時点の中国情勢がより多く報道されています。それらによりますと、中国の経済発展は著しく、米、日、独に次いで総生産額では世界第4位になりました。しかし、それを人口で割りますと一人当たりの平均所得(年収約24万円)は、世界で100位前後になります。また国内における教育予算の配分状況には、総人口の60%を占める農村に対して20%の配分というアンバランスが見られます。医療面では、農村における衛生院などの施設の建設がようやく本格化するという事です。当会の母子保健センター建設支援は、先駆的役割の一端を果たした事になります。

子どもたちの教育条件では、本年から義務教育(小学校・初級中学)の学費が無償になるということです。経済発展の成果が農山村の子どもたちにも少しずつ波及し始めたといえます。これからは、「机と椅子」などの備品、図書

・辞典などの充実が求められ、さらに保育・幼児教育の施設整備、保育士・教師の育成が課題となってくるでしょう。

JCC第5回総会では、07年度事業計画として、農山村における寄宿舎建設・「机と椅子」配備支援、図書セット寄贈等を教育支援の重点項目に決めました。両国



河北省易県の中学校にて

の民間友好の絆を固める為に、ご支援をよろしく
お願い申し上げます。

自国内にしなければならぬことが沢山あるのに「なぜ中国なの？」と聞かれます。過去100年余の間で前半の50年は、日本は中国に対

して抑圧者であり加害者でした。今夏7月7日は、日中戦争開始とりわけ盧溝橋事件と南京事件の70周年にあたります。しかし、後半の50年を考えると、日本は、世界に誇る平和憲法を掲げ、近隣諸国との和解と友好に努めて来ま

した。このような中で、本年は、日中国交正常化35周年になります。私たちは、日中友好への思いを新たに、アジアの連帯と世界平和に寄与する一点になりたいと思います。
(久保田博子)

2006年度収支計算書 2006年1月1日から2006年12月31日

| 科 目 | 金 額 | | |
|------------------|-----------|-----------|-------------------|
| | 内 訳 | 期中小計 | 期中合計 |
| 収入の部 | | | |
| 寄付金収入合計 | | | 4,500,253 |
| 正・維持会費 | | 1,386,040 | |
| プロジェクト寄付 | | 2,312,155 | |
| 幼児教育支援事業 | 10,000 | | |
| 母子保健事業 | 627,155 | | |
| 奨学金・校舎設備事業 | 1,151,000 | | |
| 図書セット寄贈事業 | 326,000 | | |
| シンポジウム寄付 | 198,000 | | |
| カンパ | | 802,058 | |
| その他の収入合計 | | | 1,130,945 |
| 中国への理解を深める為の活動 | | 1,130,800 | |
| 中国講座 | 52,500 | | |
| 国際交流基金助成金 | 1,078,300 | | |
| 預金利息 | | 145 | |
| 当期収入合計 | | | 5,631,198 |
| 収支差額繰越金 | | | 4,978,032 |
| 当期収入合計 | | | 10,609,230 |
| 支出の部 | | | |
| 事業支出の部 | | 3,855,000 | |
| 母子保健支援事業 | 1,500,000 | | |
| 奨学金支給事業 | 1,535,000 | | |
| 机・椅子寄贈事業 | 540,000 | | |
| 図書セット寄贈事業 | 280,000 | | |
| その他の支出 | | 1,622,870 | |
| 中国講座 | 128,310 | | |
| 国際シンポジウム | 1,494,560 | | |
| 運営費の部 | | 1,649,510 | |
| 振替口座加入者負担 | 30,200 | | |
| 事務室管理料 | 264,120 | | |
| 水道光熱費 | 62,659 | | |
| 旅費交通費 | 2,800 | | |
| 通信費 | 275,956 | | |
| 広報活動費 | 379,283 | | |
| 会議費 | 59,644 | | |
| 国際交流費 | 0 | | |
| 消耗品費 | 244,127 | | |
| 海外送金料 | 37,500 | | |
| コピー機リース料 | 156,240 | | |
| 原価償却費 | 52,526 | | |
| 雑費 | 84,455 | | |
| 当期支出合計 | | | 7,127,380 |
| 収支差額次期繰越金 | | | 3,481,850 |
| 当期支出合計 | | | 10,609,230 |

2006年度事業経過報告 2006年1月1日から2006年12月31日

| プロジェクト内容 | 前期繰越 | 当期募金額 | 当期実施額 | 現在積立額 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 幼 児 教 育 | 549,000 | 10,000 | 0 | 559,000 |
| 母子保健(救急車) | 514,147 | 627,155 | 1,500,000 | 0 |
| 奨 学 金 | 1,195,380 | 1,151,000 | 1,535,000 | 271,380 |
| 机 ・ 椅 子 | 0 | 326,000 | 540,000 | 0 |
| 図書セット寄贈 | 0 | 326,000 | 280,000 | 46,000 |
| | 2,258,527 | 2,114,155 | 3,355,000 | 876,380 |

(母子保健の不足分はカンパより補填)

哀悼



荒川富士子さん
ありがとうございました

中国映画「乳泉村の子」、「あの子を探して」、「北京バイオリン」と、荒川さんが企画し、選び抜いた名画の上映会は、いつも満席で、多くの人々を涙と感動に包み、且つ、多額の純益を寧夏回族自治区・河北省の山村に贈ることができました。そのほか、餃子の会・バザー等々、率先して、楽しげに働いておられた荒川さんの笑顔を私たちは忘れることができません。彼女は当会発足時の発起人の一人であり、会計担当理事の一人として堅実に貢献して下さいました。

「また、映画会を...」、「こんどは二胡や馬頭琴の音楽会を...」と話しておられたのに、思いがけない急逝でした。2006年10月28日、享年83歳。

心からご冥福をお祈りするばかりです。
(三浦克子)

グローバリゼーションの下での 少数民族女性のエンパワーメントを終えて

早稲田大学教育学部教授・JCC理事 新保 敦子

2006年11月5日から6日にかけての2日間、早稲田大学で、国際シンポジウム・グローバリゼーションの下での少数民族女性のエンパワーメントが開催された。

本シンポジウムの開催趣旨は、グローバリゼーションが少数民族地域においても進行する中で、少数民族女性がどのような問題に直面しているのか、またいかにすればエンパワーメントを遂げることができるのかを、明らかにすることにあった。

ここで主な対象として設定したのは、中国の寧夏回族自治区に居住するイスラム教徒である回族という少数民族の女性である。寧夏の南部に広がる黄土高原には、多数の回族が居住しているが、貧困のために学校に行けない多くの女兒や女子青年がいた。

宋慶齡日本基金会(1984-2000年)さらにその後身であるNPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会(2000年-)は、寧夏回族自治区の黄土高原において、1993年以降、児童への奨学金の支給や回族女性教員の養成・研修を中心とする寧夏プロジェクトを実施してきた。そのため、シンポジウムでは2005年に



寧夏の女性教師 海金琴さん(左)



寧夏の女性教師 白寧さん

終了した寧夏プロジェクトを総括しつつ、地域の自立的発展を促す教育支援プログラムのあり方を考察した。

参加者は約180名であり、この研究分野への関心の高まりを感じさせた。外国人研究者、留学生も多数参加し、約3割程度が中国、韓国、イギリス、マレーシア、レバノンなど外国籍の参加者で占められていた。

参加者からは、「大変に充実したシンポジウムであった。」「海金琴さん、白寧さん、お二人の女性教師の話には、とにかく心を打たれた。是非、日本の教師たちに、彼女たちの話を聴いてもらいたい」といったコメントが多数寄せられた。

こうした意義深い国際シンポジウムが開催されたことに対して、主催団体として支えてくださったNPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会に心から感謝するとともに、暖かいご支援を賜った会員の皆様に、御礼申し上げます。ありがとうございました。

第9回 JCC 中国講座

2006年 10月 7日
於 八王子労政会館

中日関係と中国の歴史教科書

宮崎公立大学教授 王 智新 (現在 英知大学教授)

中国人にとって、歴史は単なる事実を記述したのではなく、同時に哲学・倫理学でもある。歴史学者は、過去に発生した事実を単に記述するのではない。歴史は鑑であるという鑑戒史観：「以銅為鑑、可以正衣冠；以古為鑑、可以知興替」 銅を鑑とすれば、服装と冠を正すことができ、過去を鑑とすれば、政権の盛衰（の理由）を知ることができる を大切にしてきた。

1、中国の教科書制度

中国では従来国定教科書制度（一綱一本制）が採られていた。しかし、20世紀 80年代後半から、学校用教科書については、「審定制度」を実施するようになった。1988年 1月に、中国国家教育委員会（当時）は「九年制義務教育全日制教学大綱」（新編大綱）を頒布した。各学校で使用する教科書の決定権は、各省・市・自治区レベルの教育委員会に移譲された（一綱多本制）。中央教育委員会の教材審査委員会の審査を経て合格したものは「国家教育部 教材審査委員会認定（推薦）」本として出版され、全国範囲の採用



に供される。地方で編纂された教科書はその地方の教育委員会の「教材審査委員会」の審査を経て中央の国家教育部に届け出る。合格したものは「省（市・自治区）教育委員会 教材審査委員会認定（推薦）」本として、その地方範囲内での採用に供される。原則的には大学、

第10回 JCC 中国講座

日中戦争とは— 未来志向だからこそ過去の検証を

日本の近代 50年は日清戦争からアジア・太平洋戦争の終結まで戦争の連続でした。戦後 60年以上は平和な時代が続きました。この平和を持続させるためにも過去に対する検証と反省が必要だと思います。

講師：姫田光義さん 中央大学経済学部教授

関連主要著書：『もう一つの三光作戦』共著（1988年 青木書店）、『三光作戦とは何だったのか』（1995年 岩波書店）、『国際共同研究・日中戦争史』（第1巻 編著 2006年 慶応義塾大学出版会）

日時：2007年 5月 26日（土） 14:00～16:00 参加費：500円

場所：八王子労政会館ホール TEL.042-645-7451

（八王子市神明町 3-5-1 京王八王子駅徒歩 7分・JR八王子駅徒歩 10分）

主催：NPO法人宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会 お問合せ：TEL& FAX 042-646-4210

研究機関、出版社等、組織でも個人でも教科書の執筆は認められている。採用は学校単位で行われるが、地方の区・市・県の教育委員会が指導に当たる。その後1992年に教科書制度の改革が一気に加速した。2004年現在では義務教育段階の18教科には、各地で編集した199種類の教科書が教育部の「義務教育学校教学用書目録」に掲載され、各学校の採用に供されている。中でも歴史教科書に限って言えば、北京、上海、四川、広州、河南、河北、湖南などの11出版社から14種類発行されている。国家標準、地方標準と学校標準と活発化している。

2、中国の歴史教科書

中国において世界史教育の目的は世界の形成の歴史的過程を理解し、世界諸国の関連を多角的に考察することを通して、歴史的思考力の養成、社会発展の法則の把握と、歴史唯物論と弁証法について初歩的な知識を得るにある。特に20世紀80年代に入ってから、とかくエスノセントリズムによる偏狭な歴史認識に陥りがちな自国史を世界史の統一的な把握によって、

正しく認識し、教育することも重要な課題と成ってきた。

3、隣人と如何に付き合うか

『未来を開く歴史 東アジア 3国の近現代史』の製作過程から学べたもの。

一国だけでは東アジアの近現代史が語れない。自国中心の歴史は21世紀に通じない。隣人を知り、理解することが大事で、平等、対等という視点が大切。歴史は信頼を築く土台で、砂上の楼閣ではなく、どんな強い地震や暴風雨にも耐えうる強いアジア連携を目指したい。

予告 第11回 JCC中国講座

在日中国人の現在— 日中間の人の移動を考える

講師：田嶋 淳子さん

法政大学 社会学部 教授 在日外国人実態調査研究

日時 2007年 11月 3日(土) 14:00~16:00

主催 NPO法人

宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会

〈留学生応援会〉からのお願い!!

このたび、私どもNPO法人宋慶齡基金会JCCは、NPO八王子市日中友好協会(夏 躍芳会長)と共催で、日本で苦勞して勉強している留学生の皆さんを励まし、応援する会を企画することにいたしました。一緒に餃子などを作り、会食しながら語り合い、楽しく交流する機会がもてたら…と願っています。

第1回は、本年9月30日(日)に予定しています。留学生の皆さんの参加をお待ちします。同時に日本人学生さんの参加も歓迎します。

この〈留学生応援会〉の集いに参加される留学生に、文具・日用雑貨(タオル・石鹸等)・普段着などをプレゼントしたいと思います。これら友情の支援物資を、いずれも新品で、ご寄付いただければうれしく思います。

受付：毎月第3水曜日午後1時~5時

宛先：〒192-0904 東京都八王子市子安町1-43-6-206

NPO法人宋慶齡基金会JCC Tel/Fax 042-646-4210

ご支援・ご参加をお待ちしています。

JCC活動日誌 2006年 9月 24日 ~ 2007年 5月 12日

2006年

- 9月 24日 ~ 25日 故 須藤 雅さん墓参旅行：宮城県登米市
- 9月 27日 東京代々木 LC奨学金給付の寧夏・固原師範専科学校が寧夏師範学院に改称
- 10月 7日 第 13回理事会開催：国際シンポジウム関係ほか
第 9回 JCC中国講座：王智新氏「中日関係と中国の歴史教科書」
- 10月 14日 第 40回事務局会議
- 10月 20日 上海宋慶齡基金会に送金 17万円：貴州省凱里市三棵樹鎮の小学生奨学金及び賞郎小学校新 1年生への寄贈新華辞典基金
- 10月 28日 荒川フジ理事、逝去、享年 83歳
- 11月 4日 国際シンポジウム参加の海外ゲスト来日、中国宋慶齡基金会李希奎部長来日歓迎レセプション(池袋メトロポリタンホテル)
- 11月 5日 ~ 6日 国際シンポジウム「グローバル化の下における少数民族女性のエンパワーメント」(早稲田大学国際会議場)
- 11月 7日 中国宋慶齡基金会李希奎部長歓迎交流活動
- 11月 8日 李希奎部長帰国
- 11月 16日 上海宋慶齡基金会より EMS：救急車配備支援関係領収証、贈呈式写真及び救急車の維持管理に関する報告
- 11月 25日 第 41回事務局会議：第 14回理事会議案関係

- 11月 30日 中国宋慶齡基金会に送金 148万円：河北省易県小中学生奨学金 内蒙古通遼市蒙族小学生奨学金 寧夏・西吉和平中学女子中学生奨学金 寄贈図書・辞典基金
- 12月 10日 第 14回理事会開催：07年度事業計画・予算等
- 12月 17日 故荒川フジさんを偲ぶ餃子の会
- 12月 30日 中国宋慶齡基金会より FAX：代々木 LC奨学金協定書調印成る

2007年

- 1月 7日 仕事初め
- 1月 17日 寧夏・西北民族学院日本語科に日本語教材 10点を発送、寄贈：日本語教材支援
- 1月 20日 第 42回事務局会議：第 5回総会議案
- 1月 29日 寧夏・西北民族学院武宇林教授より日本語教材受領・感謝の E-mail
- 2月 3日 第 43回事務局会議：第 15回理事会・第 5回総会準備
- 2月 7日 総会議案書発送
- 2月 9日 西北民族学院より日本語教材受領書・感謝状届く
- 2月 19日 NPO八王子市日中友好協会 夏躍芳会長来訪：共同活動について
- 2月 25日 第 15回理事会開催
第 5回総会開催：06年度事業・財務報告 / 07年度事業計画・予算決定
- 3月 4日 『私の歩んだ保育の道 須藤 雅 1926-2006』出版記念会
- 3月 17日 第 44回事務局会議：事業実施関係
- 3月 23日 東京都庁に 06年度事業・財務報告提出
- 3月 国際シンポジウム(06年 11月)報告書を刊行、配布
- 4月 9日 国際交流基金より助成事業完了通知 / 免税申請提出
- 4月 19日 中国宋慶齡基金会より EMSと電送：内蒙古通遼市小学生奨学金実施報告 河北省易県図書セット寄贈実施報告 易県白馬中学寄宿舎建設支援資料
- 4月 28日 第 45回事務局会議：訪中団派遣(5/27 - 6/3)関係ほか
- 5月 12日 “為了明天” 第 13号発行



2006.10
救急車贈呈式

**編集
後記**

10年前、北京訪問の折に私は人民大学 3年生の女子学生と手をつないで盧溝橋を渡った。13世紀に、元を訪れたマルコポーロが、「世界一美しい橋!」と賞賛したという盧溝橋の欄干には唐獅子の石像が五百余も並んでいた。母獅子は皆仔獅子を抱き、或いは背負って嬉しそうな表情。「獅子のお母さん!! 子ども達は大切ね。もう絶対に戦争は厭ね」と私は獅子達に語りかけ、涙を押さえかねていた。向暑の季節、何卒お健やかに。(三浦)

「為了明天」No.13

2007年 5月 12日発行

題字：周 肖

編集：三浦・井上

発行者：NPO法人宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会
久保田博子

〒192-0904東京都八王子市市安町 1-43-6-206

TEL/FAX 042-646-4210

郵便振替：00170-2-152423

三菱東京UFJ銀行八王子支店(普通)4731623